

科目名	和声分析 I	授業期間	通年
担当教員	原田敬子	科目 No.	CMT3313
受講対象	声楽演奏家コース、声楽、ピアノ演奏家コース、ピアノ、ピアノ・創作コース、弦楽器、管打楽器、音楽教育3・4年	単位数	2単位

目 標 ／ 概 要	<p>目標：音楽を豊かにしているもの、作曲家や時代によって異なる音楽の特徴を、主に和声、音組織、形式などを通して理解し、演奏解釈に役立てることを目標とする。</p> <p>概要：例えば J.Haydn の音楽を和声面から理解するには、C.P.E Bach を知る必要があり、C.P.E Bach の理解には大バッハを知らねばならない。時系列に和声の発展を追いながら理解を深めていく。</p>
-----------------	---

授 業 計 画	春 学 期					
	1	楽曲を用いた既習和音の復習：三和音～四和音				
	2	楽曲を用いた既習和音の復習：三和音～五和音				
	3	J.S.Bach 和声分析（弦楽器、鍵盤楽器） 和声（全体の特徴）				
	4	J.S.Bach 和声分析（弦楽器、鍵盤楽器） 和声（詳細）				
	5	J.S.Bach 和声分析（弦楽器、鍵盤楽器） 形式				
	6	J.S.Bach 和声分析（弦楽器、鍵盤楽器） まとめ				
	7	C.P.E Bach 和声分析（鍵盤楽器） 和声（全体の特徴）				
	8	C.P.E Bach 和声分析（鍵盤楽器） 和声（詳細）				
	9	C.P.E Bach 和声分析（鍵盤楽器） 形式				
	10	C.P.E Bach 和声分析（鍵盤楽器） まとめ				
	11	J.Haydn 和声分析（弦楽器、弦楽四重奏、鍵盤楽器） 和声（全体の特徴）				
	12	J.Haydn 和声分析（弦楽器、弦楽四重奏、鍵盤楽器） 和声（詳細）				
	13	J.Haydn 和声分析（弦楽器、弦楽四重奏、鍵盤楽器） 形式				
	14	J.Haydn 和声分析（弦楽器、弦楽四重奏、鍵盤楽器） まとめ				
	15	春学期のまとめ（ミニテスト含む）				
	秋 学 期					
	1	W.A.Mozart 和声分析（合唱、管楽器） 和声（全体の特徴）				
	2	W.A.Mozart 和声分析（合唱、管楽器） 和声（詳細）				
	3	W.A.Mozart 和声分析（合唱、管楽器） 形式				
	4	W.A.Mozart 和声分析（合唱、管楽器） まとめ				
	5	L.V.Beethoven 和声分析（ピアノ・ソナタ、管弦楽） ピアノ・ソナタ 形式				
	6	L.V.Beethoven 和声分析（ピアノ・ソナタ、管弦楽） ピアノ・ソナタ 和声				
	7	L.V.Beethoven 和声分析（ピアノ・ソナタ、管弦楽） 管弦楽 形式				
	8	L.V.Beethoven 和声分析（ピアノ・ソナタ、管弦楽） 管弦楽 和声				
	9	J.Brahms 和声分析（室内楽）				
	10	学生のリクエストによる近代の楽曲（分析）				
	11	学生のリクエストによる近代の楽曲（解説）				
	12	F.schubert 他 和声				
	13	R.Schumann , F.Chopin 和声				
14	年度末テスト					
15	理解度の確認					

準備学習の内容	後期バロックからロマン派初期の作品の楽譜を事前に学習しておくこと。					
履修上の注意	配付されたプリントを授業に忘れたら、各自でコピーをすること。 「和声Ⅱ」「実用和声Ⅱ」または「作曲理論基礎Ⅱ」の単位取得者であることが履修条件となる。定員を超える申し込みがあった場合、抽選とする。					
評価方法	試 験	課題(レポート含)	発 表	平常点	その他	合 計
	50%			50%		100%
	補 足					
教材等	プリントを配付する。					